

## 平成16年度 決算報告書

国立大学法人 京都工芸繊維大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,337	5,336	△ 1	(注1)
施設整備費補助金	27	27	—	
船舶建造費補助金	—	—	—	
施設整備資金貸付金償還時補助金	63	188	125	(注2)
自己収入	2,367	2,071	△ 296	(注3)
授業料及び入学金検定料収入	2,323	2,025	△ 298	
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	44	46	2	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	730	738	8	(注4)
長期借入金収入	—	—	—	
計	8,524	8,360	△ 164	
支出				
業務費	7,704	7,340	△ 364	(注5)
教育研究経費	6,136	5,636	△ 500	
診療経費	—	—	—	
一般管理費	1,568	1,704	136	
施設整備費	27	27	—	
船舶建造費	—	—	—	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	730	603	△ 127	(注6)
長期借入金償還金	63	188	125	(注7)
計	8,524	8,158	△ 366	
収入-支出	—	202	202	

### ○予算と決算の差異について

(注1) 予算額は百万円未満切上で記載、決算額は百万未満四捨五入で記載のため1百万円差異となっています。

(注2) 施設整備資金貸付金償還時補助金については、平成16年度補正予算により、平成13年度に貸付決定を行ったものの繰り上げ償還分が加算された結果、予算金額に比して決算金額が125百万円多額となっています。

(注3) 自己収入については、主に平成17年度入学者に係る授業料の前倒徴収を行わなかったことにより、予算金額に比して決算金額が296百万円少額となっています。

(注4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究・共同研究は見込額より少なかったが、寄附金の獲得に努めたため、予算金額に比して8百万円決算金額が多額となっています。

(注5) 業務費については、教員人事配置システムの改善・改革、人事評価制度の整備・充実により、経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が364万円少額となっています。

(注6) 指定された寄附金の使途や共同研究の期間等により、当年度には執行が完了しないものがあることから、予算金額に比して決算金額が127百万円少額となっています。

(注7) 注2に示した理由により、予算金額に比して決算金額が125百万円多額となっています。